

やわらかな新芽 ぶどう

宇治支援
中学部

吉田銘茶園で茶摘み

府立宇治支援学校(細矢義伸校長)の中学部1年生22人は13日、茶摘み体験に胸躍らせた。

2016年以来、同校は(株)丸利吉田銘茶園の協力で同社が所有管理する伊勢田町の茶園を会場に機会を得ている。

同地では昨年に教職員のみで茶摘みをしたが、コロナ禍で生徒が訪問するのは3年ぶり。この日、はじめに吉

田昌弘さんの手ほどきを受けた生徒は2班に分かれ、茶園へ足を踏み入れた。

先生が付き添う中、緑色まばゆい新芽を摘み取っていった。

坂田和海(かずみ)さんは「やわらかな

芽。普段は麦茶をよく飲むけれども、製茶したお茶を楽しみにしている」、篠原汐桜(しおん)さんは「茶摘みに行く母から様子を聞いていた。茶摘みができてうれしい」と声を

弾ませた。

同校ではホットプレートを使った製茶体験も行うほか、校内にある茶園や茶づなでも地元の特産に親しむという。



茶摘みを楽しんだ坂田和海さん